

平成 27 年 5 月 29 日
第 12 回策定委員会資料

市民会館のこれまでの経緯について

1. 市民会館開設の経緯

市民会館は昭和 43 年に元市立第二小学校の木造校舎の一部を活用して設置されていたが、老朽化のため第二期長期計画（S56 年～67 年度）で改築が記載され、社会教育施設としての改築を求める請願を受けて、昭和 58 年 7 月から全面改築工事を行い昭和 59 年 10 月に完成している。改築以前は市民活動のための貸館業務が主であったが、会館独自の事業も行うようになり、現在に至っている。平成 26 年 7 月末現在の社会教育関係団体登録数は 323 団体。

2. 市民会館の利用状況（平成 25 年度実績）

施設名	講座室	第 1 学習室	第 2 学習室	会議室	多目的ルーム	第 1 和室	第 2 和室	美術工芸室	料理室	音楽室	集会室	計
利用数(件)	555	606	592	564	852	633	474	609	330	756	707	6,678
操業数(件)	912	912	912	912	912	894	894	912	873	930	930	9,993
利用率(%)	60.9	66.4	64.9	61.8	93.4	70.8	53.0	66.8	37.8	81.3	76.0	66.8

3. 市民会館についての長期計画の記載及びその後の経過について

【第四期長期計画・調整計画（H20～24 年度）】(3) 生涯学習施設の充実

市民会館と「武蔵野プレイス（仮称）」はともに生涯学習機能を有しており、立地が近接していることから重複の可能性が指摘されている。市民会館の今後のあり方については、「武蔵野プレイス（仮称）」の事業や運営の詳細が固まる時期とあわせて検討を進める。これについては、住民のニーズを踏まえて、コミュニティセンターとしての利用なども含め検討を行う。

【第五期長期計画（H24～33 年度）】(3) 文化施設の再整備

市民文化の拠点である公共施設の中には、老朽化やバリアフリー等の課題を抱える施設や、他の施設と機能が重複している施設もあり、既存の役割、機能を勘案しつつ、総合的、計画的な観点から整備を推進していく。武蔵野公会堂と市民会館については、圏域ごとの面的な施設配置の中で求められる役割や位置づけを検討する。

4. 討議要綱の記載

集会機能を有する市民会館やホール機能を有する芸能劇場は、それぞれの圏域における面的な施設配置から役割や位置づけを検討する。

5. 討議要綱の意見交換会等における意見について

主な意見	回答（対応方針）
市民会館の機能をより充実していくためにも、市民会館に関する記述は、基本施策 4 の（1）に入れてほしい。市が推進する市民自治や市民主体のまちづくりが、市民側からももっと活発に出てくると思う。	市議会との意見交換会でも、市民会館についての意見をいただいた。今後、建物の老朽化も視野に入れながら、策定委員会の中でも大きなテーマになっていくのではないかと考えている。

主な意見	回答（対応方針）
<p>市民会館は単なる貸し館施設ではなく社会教育の拠点施設のため、基本施策 4（1）「生涯学習機会の充実」に位置づけてもらいたい。運営に関しては、社会教育主事の有資格者を登用するなどによって人材の高度化を図り、学びのコーディネーターとしての役割を果たすことが考えられる。</p>	<p>具体的な意見として検討させていただく。市民がどのように運営に関わっていくことを望まれているのかお聞きしたい。</p>
<p>市民会館の本来の持つ役目が果たされているのか評価をしないと、その先に進めない。いわゆる公民館ではない市民会館は立場が曖昧な面があるので、いま一度再考した上で考えるべき。社会教育施設として、今の運営が適切なのか、この点についても議論してほしい。</p>	<p>プレイスやふるさと歴史館ができ、市民会館がどういう役割を果たすかについて、また、本来の社会教育施設として役割を果たしているのかどうかについて、それは再度策定委員会で議論を進めたい。</p>
<p>「三駅周辺には集会機能やホール機能を有する施設が重複しており、役割の整理が必要である」と記載している。これは具体的にどういうことなのか。また、「集会機能を有する市民会館やホール機能を有する芸能劇場は、それぞれの圏域における面的な施設配置から役割や位置づけを検討する」とあり、役割や今の位置づけを変えるようなニュアンスもあるが、どのようにイメージしているのか。</p>	<p>武蔵境については、プレイス、スイング、市民会館があり、各々利用されている。単独に施設ごとに機能づけをする必要はないと思っており、この 3 施設を市としてどのように位置づけていくのか、その検討が必要だろう。すぐに方向づけて廃止や再建するということではなくて、しっかりと施設のありようをこの時点で検討しておくべきだろう。</p>

<平成 25 年第 4 回定例会より>

議員：第五期長期計画には、文化施設の再整備の項目に、「武蔵野公会堂と市民会館については、圏域ごとの面的な施設配置の中で求められる役割や位置づけを検討する」とあるが、これまでにどのような検討を行っているのか。

市長：公共施設再編の対象として、さまざまな検討を行っている最中である。現時点で明確な結論はまだ出ていないが、市民会館については、社会教育、生涯学習あるいは集会機能といった面で、プレイスやスイングと機能的には重複している面がある。また、設置後 30 年未満の施設なので、今後も既存施設の有効活用を図っていくということが必要ではないかと考えているし、全市的、あるいは武蔵境圏域の課題解決にどのように活用できるかということを検討しているところである。